


1.こだわり米栽培は、マニュアルに記載されている資材（農薬・肥料等）のみの使用となります。

2.対象品種 **ひとめぼれ・つや姫** ※2品種のみ

3.病虫害多発の恐れがある場合は無断で対処せず、農家組合委員及びJAに連絡して下さい。

4.こだわり米には畦畔除草剤は使用できません。（畦畔も圃場の一部です。）

月旬	1~2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11~12月										
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下								
主 な 作 業	◎床土準備 培土の窒素成分 自家採土 または 購入培土 ↓ 化学N成分 最大使用量 50g/10a			タフブロック 使用上の注意 ◎種子消毒時の 水温10℃以上 ◎催芽時の適温 28℃~30℃ ◎化学成分薬剤 の使用禁止			①種子準備 (塩水選:比重1.13) ②浸種(水温10℃を確 保し積算温度120℃ を目安にし、水は2 日おきに交換する) ③種子消毒:タフブロ ック200倍液24時間: 水温10℃確保。 ④催芽[28℃~30℃] (催芽時処理が効果 的です。) ⑤播種(4月15日以降) ⑥立枯れ・カビ防除 ⑦出芽[28℃~30℃] (山間高冷地では育苗 器を使用しましょう) ◎春耕起 ◎基肥散布 ◎塩化カリ散布			生 ス テ ー ジ 育 水 管 理 水深 水面			活着 活着後は日中浅水(2~3cm程度)			分けつ期 最高分けつ期 減数分裂期 中干し 間断かん水 低温時深水 有効茎が確保 されたら落水			幼穂形成期 出穂期 登熟期 成熟期 減数分裂期 浅水 飽水管理 落水(出穂後25~30日)			登熟期 成熟期 登熟期 成熟期 登熟期 成熟期 登熟期 成熟期			登熟期 成熟期 登熟期 成熟期 登熟期 成熟期 登熟期 成熟期			登熟期 成熟期 登熟期 成熟期 登熟期 成熟期 登熟期 成熟期			登熟期 成熟期 登熟期 成熟期 登熟期 成熟期 登熟期 成熟期			登熟期 成熟期 登熟期 成熟期 登熟期 成熟期 登熟期 成熟期				
	◎土づくり ・土壤改良資材、良質堆肥の施用 			◎化学成分薬剤 の使用禁止			◎春耕起 ◎基肥散布 ◎塩化カリ散布			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】				
◎土づくり ・土壤改良資材、良質堆肥の施用			◎化学成分薬剤 の使用禁止			◎春耕起 ◎基肥散布 ◎塩化カリ散布			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】		
◎土づくり ・土壤改良資材、良質堆肥の施用			◎化学成分薬剤 の使用禁止			◎春耕起 ◎基肥散布 ◎塩化カリ散布			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】			代かき 落水【ガス抜き】		

1.収穫期の目安
①籾の90%が黄色になり、穂軸が先端から、3分の1程度黄変した時が適期の始めです。
②下記は出穂期後の積算気温と日数からみた刈取り適期の目安です。

品種名	出穂期後の積算気温(℃)	出穂期後の日数
ひとめぼれ	940 ~1,050℃	40 ~45日
つや姫	1,000 ~1,150℃	45 ~53日

2.乾燥
①乾燥機は、努めて低温乾燥としましょう。
②水分は14.5%~15.0%が目標です。

3.調製
ライスグレーダーの網目は1.90mmを使用し、整粒歩合80%以上の1等米に仕上げましょう。

◎秋耕
良質堆肥及び土壤改良資材の散布。

1.土づくりの実践。

- 土づくり肥料または良質堆肥を施用する。
- 2.農薬を軽減するので、薬剤の効果が発揮される処理を行うとともに、耕種的防除を実践する。
- 3.窒素の多施用はいもち病等の発生原因になるので、過剰な施肥・腐熟していない堆肥は施用しない。
- 4.晩期栽培(ひとめぼれ)の励行。
(晩期栽培の栽植密度は株間16cm(70株/坪)以上を推奨します。)
- 障害不稔や高温登熟による品質低下を回避するため、晩期栽培を実施する。
- 5.適正な穂数と籾数を確保するため、1株の栽植本数は3~4本とする。
- 6.カメムシ類の防除。
●出穂10日前までの畦畔等の除草と併せ、農薬による防除を必ず1回実施する。

1.種子

種子は指定種子生産圃産種子を用い、100%更新して下さい。また、比重選(塩水選)を必ず行う事。

2.播種量と育苗日数の目安(4月15日頃播種)

種類	乾籾重(/箱)	育苗日数	苗の草丈	葉数
稚苗	140g	20~25日	10~15cm	2.1~2.5
中苗	100g	25~30日	13~18cm	3.5~4.0

◆晩期栽培では育苗期間が高温で徒長しやすいので、播種量を少なめにし、育苗期間も短くする。

3.無加温出芽の留意点

- ◎播種時のかん水は適正に実施し、ベタ張り資材で密閉する。
- ◎出芽までのハウス温度は30℃以内とし、第2葉が抽出したら除覆する。

5.プール育苗の留意点

- ◎1回目のかん水は床土の高さまでとし、ハウスは夜間も開放状態にする。
- ◎プール内の水温が高すぎる場合は冷たい水と入れ替える。

4.ハウス内の温度管理

- ◎5月の育苗は高温障害が発生しやすいので、朝7時頃までには換気作業を完了させ、ハウス内の日中の温度は20℃以下になるように管理する。

6.育苗箱処理剤使用の留意点

- ◎処理時の苗は乾いていること。
- ◎施用量が少ない場合、効果が著しく低下することがあるので、所定量を厳守する。
- ◎処理後は少量のかん水をし、土に薬剤を定着させる。

健
苗
育
成